

## 第4学年 社会科学学習指導案

日時 平成17年10月12日(水) 授業2  
学級 4年1組 男21名 女16名 計37名  
場所 4年1組教室  
授業者 教諭 高橋 真貴子

1 単元名 「昔のくらしとまちづくり～水沢の昔のくらし～」(教育出版下)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は学習指導要領第4学年2内容(5)「地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」に基づいて構成している。

私たちの現在のくらしは、昔の人々の生活の上に成り立っている。本小単元は、「昔のくらし」の中でも道具をもとにして、人々のくらしがどのように変わってきたのか、また、地域に残る文化財や行事から人々の願いについて考えていく単元である。様々な道具活用の背景には、それを使った人々の生活や仕事があり、くらしの中での思いや願いが原動力となって道具が変化し、生活も変化してきている。また、昔から受け継がれてきた文化財・行事などには、生活の安定と向上に対する地域の人々の願いがある。この単元では、過去の生活における人々の知恵や工夫に気づいたり、人々の生活の変化や願いを考えたりするとともに、地域社会の発展を願ってきた人々の生き方について理解し、地域の一員としての社会的なものの見方・考え方を深めることがねらいである。

(2) 児童観

子どもたちはこれまでの学習で、「安全」「健康」という観点で、まちづくりについて考えてきた。調査やインタビューによる情報収集では、調べる観点を明確にもって、調査活動を行う児童が増え、資料の読み取りについても、表やグラフ・地図などの基本的な見方ができ、様々な資料を関係付けて考えることで調査内容が深められることに気づき始めている児童も少しずつ増えている。資料から分かる事実だけではなく、その事実に隠された社会事象にも目を向けていく見方や物事に対する自分の考えをもつことが理解を深める上で大切であり、課題となっている。

事前テストでは、昔の道具を知っている児童は少なく、本物を見たことがある、家にある児童はほとんどいなかった。「井戸」は聞いたことはあるが何のための道具で、どのような仕組みになっているかまで知っている子は数名であった。また、水沢に伝わる祭りでは、日高火防祭、ざっつあか祭りは知られていて、参加したことのある児童は多いが、その由来や苦労などについての意識は少なく、参加する楽しみが意識の中では中心となっている。

本単元では、昔の道具やくらし・地域に残る行事についての調査活動・見学・体験を中心に学習を展開することで、地域の人々の生活向上に対する思いや地域社会の発展を願ってきた人々の生き方についての社会的なものの見方や考え方を育てていきたい。

(3) 指導観

指導にあたって特に工夫するところは、次の5点である。

自らの問いをもとにした課題作りの工夫をおこなう

自分の生活する地域を知る上で、より具体的な疑問をもたせること、そして新たな発見をさせることが学習を深める上で大切である。したがって、自分の体験や写真などから問いをもたせ、課題作りにつなげていくようにする。

体験・調査による課題解決方法を取り入れる

自分たちが生活する時代とは異なる時代を理解することは難しい。昔のくらしを実感するための体験や調査活動により、生活道具の工夫・生活の変化・地域の人々の願いを考えさせていく。

歴史的なまとめ方【絵年表】の学習技能を身に付けさせる

歴史的な時系列についての学習は初出であるので、時間の経緯にそって移り変わりの様子を整理し、今昔の違いや共通点を理解しやすいまとめ方についての学習技能を高める指導を行う。

社会的なものの見方・考え方を深めるようにする

道具の変化がくらしの変化につながり、その根底には人々の思いや願い、工夫や努力があることに気付かせ、社会的なものの見方・考え方を深めていきたい。

「広げる」内容の発展的な学習を行う

地域に長年受け継がれてきた祭りを調べる活動を通して、地域や時代ごとに人々の願いは異なるが、どの時代においても地域を思う共通する願いがあることを知ることで、社会的な見方を広げていく。

### 3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
社会的事象への関心・意欲・態度	地域の人々の生活の移り変わりや、歴史を伝えるものに関心を持ち、意欲的に調べようとする。	・昔の道具に関心を持ち使い、道具が使われていた頃のくらしの様子を意欲的に調べ、考えながら追究しようとしている。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などに関心を持ち、調べようとしている。
社会的な思考・判断	調べたことをもとに、人々の生活の変化や昔の人々の知恵や工夫について考えることができる。	・昔の道具の分類から、人々の生活の変化や昔の生活における知恵や工夫について、今の生活と比較しながら考えている。
観察・資料活用の技能・表現	昔の道具や地域に残る行事などについて調べ、調べたことを工夫してまとめることができる。	・昔に使われた道具や地域に残る古い建物・行事について調べ、調べたことを年表等に自分の考えを加えながら分かりやすくまとめている。
社会的事象についての知識・理解	地域の人々のくらしが変化してきていることや、人々がよりよいくらしを願う大切に受け継がれているものがあることを理解することができる。	・昔の道具の特色からくらしの変化を知り、どの時代でもよりよいくらしを願ってきたことを理解している。 ・地域に残る古い建物や記念碑・行事から、昔の人々のくらしぶりや願いを理解している。

### 4 単元の指導・評価計画（13時間扱い）

段階	時	目 標	・主な学習活動 学習課題 主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)	評 価 規 準		
					具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て
					A：十分満足できると判断する視点	B：おおむね満足できると判断する視点	
とらえる	1	水沢に昔から伝わる伝統行事やまちの昔と今の写真などをもとに、昔の人たちがどのようなくらしをしていたのか、調べる意欲をもつことができる。	昔のくらしについての課題を作ろう。 ・昔の水沢市の写真や地域に残る文化財の資料から感じたことを発表する。 ・疑問から個人課題を作り発表する。写真や資料から気づきを深める。	昔の写真や現在に残る文化財から疑問を持ち、昔のくらしについて課題を作り、追究していこうとしている。 【関心・意欲・態度】 (発言・ノート)	昔の写真や現在に残る文化財から疑問を持ち、現在の生活との比較で、昔のくらしについて自分の課題を作ろうとしている。	昔の写真や現在に残る文化財から疑問を持ち、昔のくらしについて課題を作り追究していこうとしている。	写真や資料を見る視点を示し、疑問をもつような補助発問を行い、関心をもたせるようにする。
	2	昔のくらしを調べる学習計画をたてることができる。	昔のくらし調べの計画を立てよう。 ・前時の個人課題を整理し、学級課題を作る。 ・調べ学習の計画を立てる。 課題を整理することで見通しをもたせる。	課題解決に必要な方法を具体的に考えている。 【技能・表現】 (発言・ノート)	課題追究の視点や方法を具体的に複数考えている。	課題解決に必要な方法を具体的に考えている。	課題解決のためにはこれまでどのような方法を行ってきたのか、具体的に振り返らせる。
ふかめる	3・4	昔の道具のよさや困難な点についてまとめ、昔の生活の知恵や工夫について理解することができる。	洗濯板のぎざぎざは何のためについているのだろう。 ・洗濯板のぎざぎざを予想する。 ・洗濯板を使って洗濯をしてみる。 ・体験により分かったことをまとめる。 洗濯板に工夫があることに気付かせる。	昔の道具を使用し、昔の生活の知恵や工夫について理解している。 【知識・理解】 (ノート)	昔の道具を使用し、よさと困難な点の両方についてまとめ、昔の生活の知恵や工夫を理解している。	昔の道具を使用し、昔の生活の知恵や工夫について理解している。	昔の道具を使用し、体験の中で苦労したことを思い出させる、文にまとめさせる。

	5・6	武家住宅資料館の見学等から、昔使われていた道具を調べ、疑問やわかったことを記録することができる。	昔使われていた道具を調べよう。 ・資料館を訪問し、昔の道具について調べ、メモを取る。 ・疑問点についてはインタビューなどを行う。 具体物に触れさせ、疑問をもたせるようにする。	昔使われていた道具について調査し、疑問や分かったことを記録している。 【技能・表現】 (記録カード)	昔使われていた道具について様々な観点から調査し、疑問や分かったことを記録している。	昔使われていた道具について調査し、疑問や分かったことを記録している。	道具の名前・使用目的・使い方など、一つの道具をじっくり見ることで、見方を深めさせる。
	7	昔の道具とくらしの変化とのかわりについて調べ、くらしの変化に気付くことができる。	道具の変化はくらしをどのように変えたのだろう。 ・昔の道具と今の道具の使い方について仕事量・エネルギーの種類などを比較する。 ・道具の長所・短所について考える。 昔の道具のよさについて考えさせるようにする。	昔の道具の使い方や昔のくらしの様子を今の生活との共通点や相違点を整理して考えている。 【思考・判断】 (ノート)	昔の道具の使い方や昔のくらしの様子を今の生活との共通点や相違点を整理して考え、それぞれのよさにもふれて考えている。	昔の道具の使い方や昔のくらしの様子を今の生活との共通点や相違点を整理して考えている	昔の道具と今の道具の使い方について仕事量・エネルギーの種類等を具体的に比較させることで、違いに気付かせる。
まとめる	8	道具・仕事・社会の様子を絵年表にまとめることができる。	道具・仕事・社会の様子の変化を絵年表にまとめよう。 ・調べたことを絵年表にまとめる。 事象相互の前後関係にも目を向けさせる。	道具・仕事・社会の様子を絵年表にまとめている。 【技能・表現】 (絵年表)	道具・仕事・社会の様子を自分の考えも加えながら絵年表にまとめている。	道具・仕事・社会の様子を絵年表にまとめている。	時代の順序に気をつけさせながら道具・仕事・社会の様子を絵年表にまとめさせる。
ひろげる	9	地域に伝わる祭りについて調べる計画を立てることができる。	水沢に何百年も続く祭りについて調べる計画を立てよう。 ・個人課題を整理し学級課題・グループ課題を作る。 ・調べ学習の計画を立てる。 課題を整理することで見通しをもたせる。	地域に伝わる祭りについて課題を持ち課題解決の方法を考えている。 【技能・表現】 (ノート)	地域に伝わる祭りについて課題を持ち課題追究の視点や方法を複数考えている	地域に伝わる祭りについて課題を持ち、課題解決の方法を考えている	どの祭りについて興味を持ったかははっきりさせて、友達のことを参考に解決方法を考えさせる。
	10・11・12 チャ	地域に伝わる祭りについて調べ、調べた内容について、観点を明確にして分かりやすくまとめることができる。	祭りが受け継がれる理由について調べ、わかりやすくまとめよう。 ・グループごとに観点を決めて調べる。 ・調べたことをもとにキーワードを考えてまとめる。 分かりやすく伝えるための方法を選択させるようにする。	調べた内容について、キーワードを考えまとめている。 【技能・表現】 (ノート)	調べた内容について、根拠をはっきりさせてキーワードを考え、まとめている	調べた内容について、キーワードを考えまとめている。	祭りの起源・内容・悩みなど、視点をはっきりさせて調べさせ、内容を伝えるための言葉を調べた中から考えさせる。

<p>13 本時 チャ</p>	<p>水沢に長年伝わる祭りについて発表しあい、昔の人々の願い・それを受け継ぐ人々の思いについて考えを深めることができる。</p>	<p>調べたことを発表しあい、なぜ何百年も祭りが受け継がれてきたのか考えよう。 ・調べたことを発表する。 ・祭りが受け継がれているわけについて考える。 発表内容の共通点について考えさせることで、祭りを受け継ぐ理由について考えさせていく。</p>	<p>水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考えている。 【思考・判断】 (ノート)</p>	<p>水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考え、継続する苦勞についても考えを深めている。</p>	<p>水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考えている。</p>	<p>自分が調べたことをもとに、祭りが何百年も続いている理由についてまとめさせる。</p>
-------------------------	--	--	---	--	---------------------------------------	---

チャ・・・チャレンジ学習

5 本時の指導 ( 1 3 / 1 3 ) 【チャレンジ学習】

(1) 目標

水沢に長年伝わる祭りについて発表しあい、昔の人々の願い・それを受け継ぐ人々の思いについて考えを深めることができる。

(2) 基礎・基本とのかかわり

本時で応用させたい基礎・基本は、次の2点である。 地域における社会事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現する力 地域の地理的環境、人々の生活の変化や人々の願いについて考える力 ( 社会科 3・4 年の目標より ) である。 では、何百年も伝わる水沢の祭りについて見学・調査したことをもとに、キーワードを使ってまとめることで、相手に伝える表現の工夫を広げていきたい。 では、複数の祭りについて比較することでどの時代においても地域の発展やまとまりを願う気持ちがあったことについて考えを深めていくことができると思われる。

(3) 本時の指導にあたって

見学・調査して分かったことをもとに、長年続く祭りの由来や運営・苦勞についてグループごとにまとめている。それぞれの祭りについて調べたことを発表しあい、意見を交流することで共通点を見つけながら見方を深め、なぜ現在でも祭りが受け継がれているのかについて考えさせていく。この意見交流や第三者に意見してもらうことで、それぞれの時代における願いや苦勞について考えさせていきたい。

具体的な手立てとして、次の三点を考えている。

- ・グループごとに「どの祭り」を「何の観点」で調べたのかを明確にして、キーワードをもとに発表させ、発表以外のグループでは疑問点などをもつようにさせる。
- ・意見交流では、自分が調べた祭り以外についても「なぜ、何百年も祭りが伝えられてきたのか」という視点で考えを述べることで昔の人々の願いや苦勞をとらえさせる。
- ・ゲストティーチャーから「祭り存続の苦勞」を話してもらい、苦勞してまで継続する意義について考えさせることで、「昔の人々の願いやそれを受け継いでいく人々の思い。」に迫っていききたい。

(4) 展 開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備資料
とらえる 3分	1 前時を想起する。  2 本時の学習課題について確認する。  調べたことを発表しあい、なぜ祭りが何百年も受け継がれてきたのか考えよう。	・調査活動から伝統の祭りのよさについての討論であることを確認する。 ・課題の視点と学習の進め方について確認させる。	
ふかめる 38分	3 調べた祭りについて発表しあう。 (1) 子供騎馬武者行列グループ 【祭りの由来】 ・子供の健康祈願 【祭りの内容・歴史】 ・騎馬武者姿による練り歩き (2) 黒石寺蘇民祭グループ 【祭りの由来】 ・豊作祈願 【祭りの内容・歴史】 ・裸参り・柴燈木 ( ひたき ) 登り (3) 日高火防祭 【祭りの由来】 ・防火祈願 【祭りの内容・歴史】 ・屋台運行・厄年連踊り	・観点別のグループで発表させる。 調査の実態・それをもとにした自分たちの考えを加えて発表させる。 グループの特性に応じたまとめが、全体に伝わるように、写真を見やすくしたり、ビデオを活用したりするなど提示を工夫させる。 ・メモを取りながら聞くことで、グループの考えの特性を把握させ、意見交流につなげたい。	・調査資料

ひろげる4分	<p>4 発表について意見交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことについて疑問やわかったことなどを意見交流する。</li> </ul> <p>5 課題について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">       形を変えながら、なぜ祭りを続けてきたのだろうか。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの調べたことから共通点を見出し、「由来から」「時代背景から」の2点で課題について考える。</li> </ul> <p>6 ゲストティーチャーに課題について意見を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「祭りを続けるよさ」「悩み」を聞く。</li> </ul> <p>7 学習課題に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>(1) 祭りが何百年も続いてきた理由についてまとめる。</p> <p>【評価規準 B の例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">       水沢の祭りが何百年も続いてきたわけは、毎日の暮らしと大きく関わる昔の人々の願いを、今に伝えるためである。それだけではなく、祭りはみんなの楽しみや、町の発展のために続けられてきた。     </div> <p>(評価規準 A は継続する苦勞が加わった内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモを取りながら聞くことで、グループの考えの特性を把握させ、意見交流につなげたい。</li> <li>「子供の健全育成」「厄払い」「五穀豊穡」「防火」の本来の祭りの意義に加え、「人々の楽しみ」「地域の生産活動」「町の発展」「人々のまとまり」など、祭りのよさがあり、長い間受け継がれてきていることに気付かせる。</li> <li>ゲストティーチャーの方には、祭りを続けるよさ・児童の気付かなかった苦勞や悩みについて、視点をはっきりさせて意見を述べてもらう。</li> </ul>	・ゲストティーチャー							
	<p>7 今日の学習について、振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価をする。</li> <li>感想を発表する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】(思考・判断)</p> <p>水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考えることができる。</p> <p>(ノート)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">具体の評価規準</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">努力を要すると判断された児童への手立て</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: center;">B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考え、継続する苦勞についても考えを深めている。</td> <td style="padding: 5px;">水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考えている。</td> <td style="padding: 5px;">自分が調べたことをもとに、祭りが何百年も続いている理由についてまとめさせる。</td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時のねらいに沿った観点で自己評価させる。</li> </ul>	具体の評価規準		努力を要すると判断された児童への手立て	A	B	水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考え、継続する苦勞についても考えを深めている。	水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考えている。	自分が調べたことをもとに、祭りが何百年も続いている理由についてまとめさせる。
具体の評価規準		努力を要すると判断された児童への手立て								
A	B									
水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考え、継続する苦勞についても考えを深めている。	水沢に伝わる祭りが何百年も続いている理由について考えている。	自分が調べたことをもとに、祭りが何百年も続いている理由についてまとめさせる。								

(5) 板書計画

